

伝統文化を受け継ごう！



大越公民館主催の「のびのびチャレンジスクール」が12月13日に開かれ、子どもから大人までの約20人の参加者が、日本古来の伝統文化であるしめ縄づくりと餅つきに挑戦しました。

しめ縄づくりはシルバー人材センターの指導員4人の手ほどきを受け、わらの編み込みに悪戦苦闘しながらも、市販されているものと遜色のない素晴らしい出来栄のしめ縄を完成させました。

終了後は、磐青の会のボランティアや保護者にも協力をいただき、子どもたちが臼と杵を使って元気に掛け声を発しながらリズムよく餅をつきました。出来たての餅は全員でおいしくいただきました。

手作り料理で楽しいクリスマス会



都路公民館と市保健福祉部保健課との合同事業で「親子わくわくクッキング教室」と公民館チャレンジ教室「クリスマス会」を12月21日、行いました。

子どもたちは食生活改善推進員の方々にお世話になり、包丁を上手に使いながら、ガパオごはんやコンソメスープ、フルーツヨーグルトにチャレンジしました。出来上がった料理は皆でおいしくいただきました。

クリスマス会では、ゲームやプレゼント交換で盛り上がり、楽しい一日を過ごすことができました。

常葉だるま市・船引だるま市を開催



新春恒例となっている常葉だるま市（写真左）が1月5日に常葉上町地内で、船引だるま市（写真右）が11日にJR船引駅前森公園で行われました。両日ともに天候に恵まれ、三春だるまや白河だるま、高柴だるま、干支の張子や熊手などの縁起物を買求める人でにぎわいました。

常葉では常葉町商工会による現金つかみ取り大会が行われ、挑戦者に笑みがこぼれていました。

船引では船引町商工会による福まき餅や抽選会、ビンゴ大会などが会場を盛り上げ、女性部が振舞う先着500人分の温かい甘酒も好評でした。青年部の射的コーナーには、多くの家族連れの姿が見られました。

長年の献血で表彰



船引第2工業団地で操業している藤倉航装株式会社船引工場が、献血で日本赤十字社金色有功章を受賞しました。

同社船引工場は、平成2年の操業時から約20年間、積極的に献血に協力しており、長期にわたる貢献が認められました。

都路地区で麦踏み作業



都路町認定農業者会事業の一環として12月7日、小麦の踏圧を行いました。霜柱を防いで根張りをよくし、また、麦が伸びすぎないようにするため、雪の降る中、参加者は強い小麦の成長を願いながら丁寧に踏んでいました。

奥が深い、そば打ちの技

第4回生涯学習セミナー「年越しそば打ち教室」が12月28日、滝根公民館で行われました。10人の参加者は星の村蕎麦倶楽部の指導で、十割そばを打ちました。そば粉に水を加えるところから、そば粉を練って伸ばして切り、ゆでる作業まで全ての工程を自分たちで行いました。水を加える量の調整が難しく、そば粉の硬さを確認しながら行いました。出来上がったそばと天ぷらは、参加者全員で試食しました。



和紙づくりを学ぶ



常葉女性学級第5回体験教室が12月20日に行われ、二本松市和紙伝承館で紙すき体験しました。世界中で注目されている日本の和紙で自分だけのオリジナル色紙を作ることができて、とても感激しました。

また、4万点を超すフクロウのコレクションがあるギャラリー梶を見学して福を呼び込み、パワースポットの中野不動尊では新年に向けて厄落としをしてきました。

オリジナルの生け花



常葉公民館主催のお正月用生け花教室が12月25日、フラワーセンター松江で開かれました。今年も船引町在住の松江百合子さんの指導の下、寿松、千両の紅や黄、梅など6種類の草花を使った生け花をアレンジで仕上げました。ストレリチアなどの花材にはそれぞれに見せる向きがあり、その花の美しさを学んだ教室でした。受講生は一足早いお正月を満喫しました。